

H2V Managerをお買い上げのお客様へ

電気設備（太陽光発電、エネファーム、エコウィル、エコキュート、オール電化工事、蓄熱暖房機など）を取り付けるとき、電力会社との契約アンペアを変更されるとき、分電盤を交換されるときなどに**電気工事**で注意して頂くことがあります。

電気設備の取付けをお考えのお客様は、
**本機をお買い上げの販売店にご連絡を頂くか、
本誌を電気工事業者様にお渡しください。**

トヨタメディアサービス株式会社

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦一丁目11番11号 名古屋インターシティ14階

2012年11月発行

HMJ1109-02

電気工事業者様へ

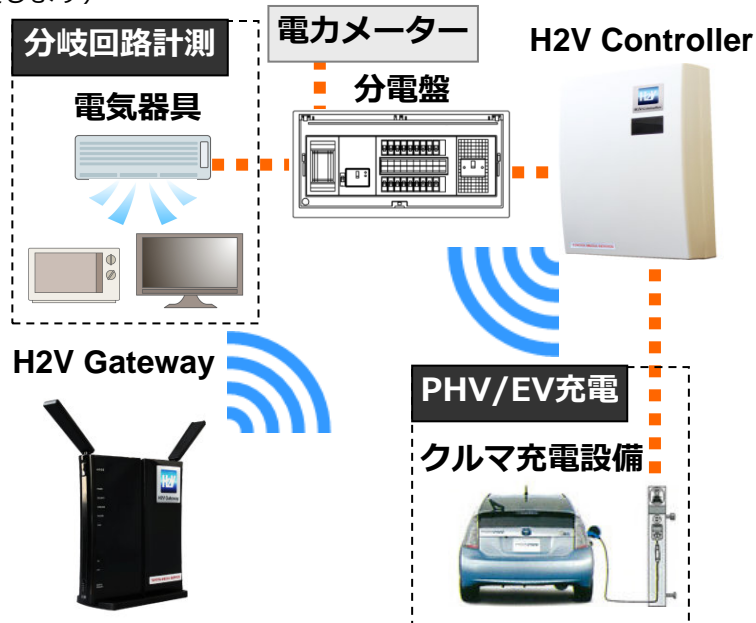
H2V Managerについて

H2V ManagerはH2V ControllerとH2V Gatewayの機器で構成され、電力見える化、クルマの充電予約、クルマ充電時のピークカットを行います。

H2V Managerの計測設定はPHV/EV充電、分岐回路（100V）、分岐回路（200V）が選択できます。

PHV/EV充電はH2V Managerをクルマ充電で使用します。分電盤内の主幹ブレーカーに主幹CTを取り付け、H2V Controller内の充電回路に充電回路用CTを取り付けます。（ご家庭の総消費電力とクルマ充電使用電力を測定します）

分岐回路（100V）、分岐回路（200V）はH2V Managerを「電力見える化」で使用します。分電盤内の主幹ブレーカーに主幹CTを取り付け、分電盤内の1系統（分岐回路）に分岐CTを取り付けます。（ご家庭の総消費電力と指定回路の使用電力を測定します）



【電気工事業者様にお願いする内容】

- H2V Controllerの電力線を結線**
 分電盤を交換したときは、分電盤の送り端子とH2V Controllerの入力端子を電力線（3芯）で結線します。
- 主幹CTの取り付け直し**
 分電盤を交換をしたとき、サービスブレーカーもしくは主幹ブレーカーの交換をしたとき、電気設備（太陽光発電等）の配線都合でCTが取り付けられなくなったときは、主幹CTの取り付け直しが発生する場合があります。
- 分岐回路計測用CTの取り付け直し**
 分電盤を交換したとき、分岐回路（サーキットブレーカー）を交換したとき、計測する機器を変更したとき、分岐回路にCTが取り付けられている場合は、CTの取り付け直しが必要です。（クルマ充電のときは分岐CTはありません）
- H2V Controllerの設定変更**
 電流制限器有無のスイッチと、契約容量スイッチがあります。
 - 電流制限器スイッチ**
 リミッターが有るとき 有 にする
 リミッターが無いとき 無 にする
 - 契約容量スイッチ**
 リミッターが有るとき リミッターの容量（A）をセットする
 リミッターが無いとき 契約ブレーカーがある場合は契約ブレーカーの容量
 契約ブレーカーがない場合は主幹ブレーカーの容量を設定します。

※ダイヤルスイッチの矢印を正しく数字に合わせてください。
矢印が数字を差していないときは無効になります。

H2V Controllerには電源スイッチはありません。
稼働中の状態でスイッチを操作してください。
（ご注意）再起動ボタン、通信ボタンはさわらないでください。

設定変更後の確認

CTの取り付け直しや配線を行ったとき

H2V Controller本体のランプ点灯状態を確認してください。
主幹CTの取り付け（L1、L2）位置、H2V Controllerの電力線取り付け（L1、N、L2）の結線に誤りが無いことを確認します。

ランプ状態については裏面をご確認ください。

「電源ランプ」「計量ランプ」「通信ランプ」

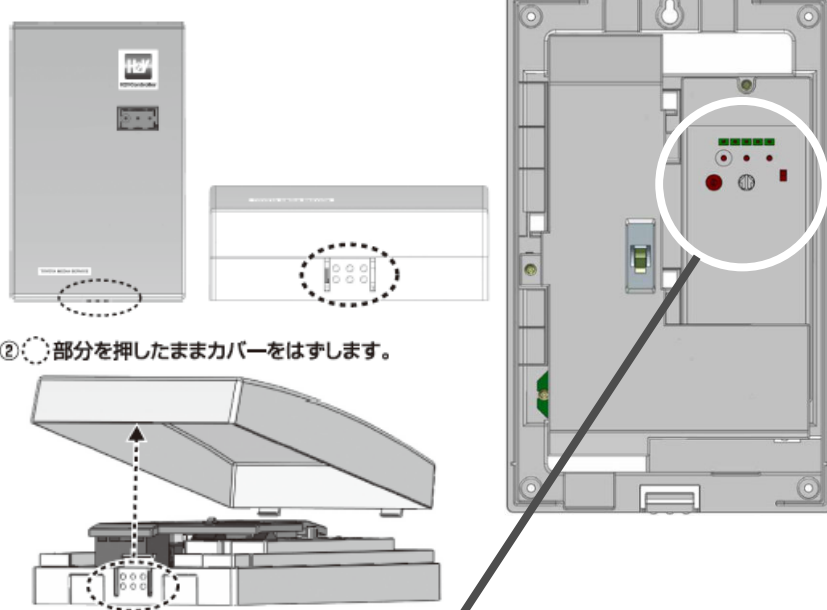


H2V Controllerの設定を変更しないと

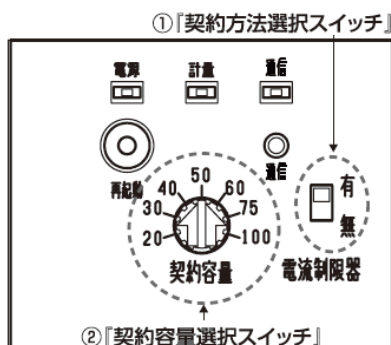
- 大きい容量のブレーカーに変更した（契約アンペアを増やした）とき
 - ・クルマの充電中に頻りにピークカットが発生する可能性があります。
- 小さい容量のブレーカーに変更した（契約アンペアを少なくした）とき
 - ・クルマの充電中にピークカットが働かず、ブレーカーダウンが発生する可能性があります。

H2V Controllerカバーの外し方

- H2V Controller本体の下にある部分を押します。



H2V Controllerの設定



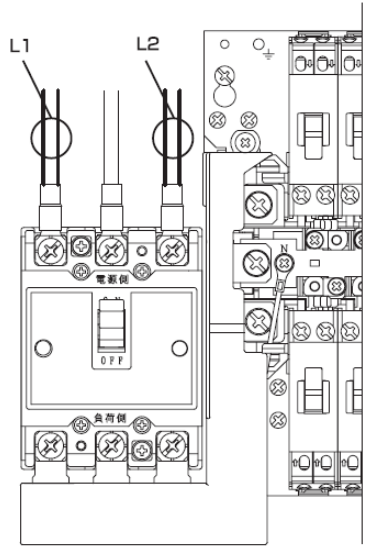
- 電流制限器「契約方法選択スイッチ」を設定します。**
 リミッターの有無は電力会社の電気の契約によって決まります。リミッターありの場合は 有、リミッターなしの場合は 無 を設定。リミッター有りの契約がある電力会社。北海道電力、東北電力、東京電力、北陸電力、中部電力、九州電力
 - 契約容量を設定します。**
 『契約容量選択スイッチ』で契約容量を選択します。
 ※リミッターありの場合はリミッターの容量、リミッターなしの場合は契約ブレーカーもしくは主幹ブレーカーの容量を選択します。
- 契約容量の設定は、矢印を数字に合わせて設定して下さい。矢印の位置が数字の間になると設定が無効になります。

CT取付場所

主幹CT取付場所は、リミッターの1次側もしくは、主幹ブレーカーの1次側か2次側に取付けます。

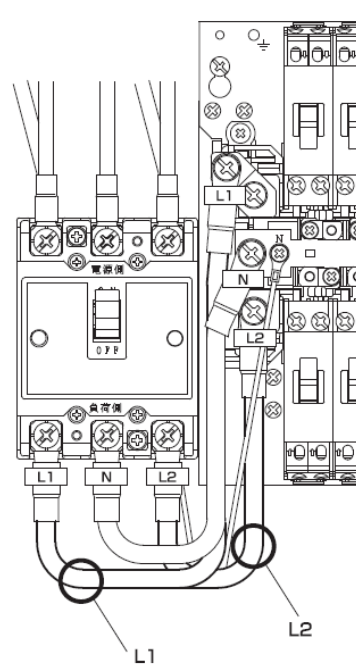
【CT取り付けの注意事項】

■1次側に接続する場合

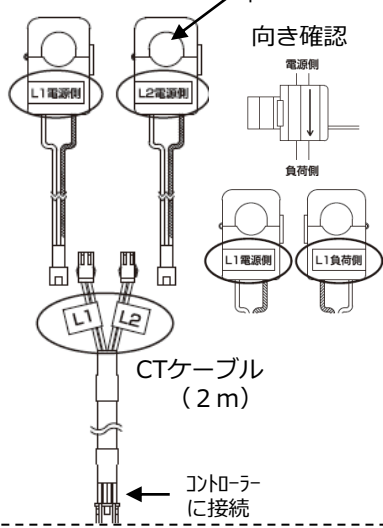


■2次側に接続する場合

※主幹2次側の銅バーを電線に変更します

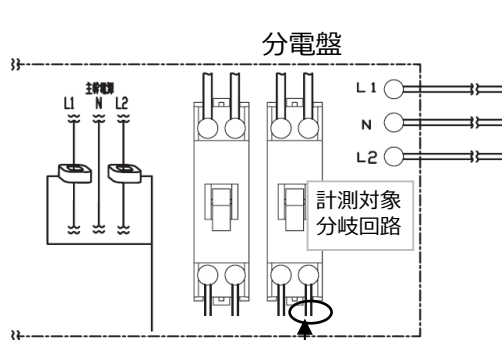


主幹CT (分割型)



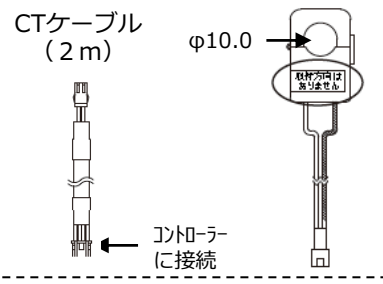
※主幹CTはL1用とL2用に分かれています。主幹CTには取り付け向きがあります。

【分岐CT取り付け】



※分岐CTに取り付け向きはありません。

分岐CT (分割型)

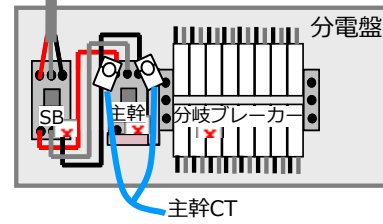


分電盤の主幹ブレーカー2次側を銅バーを電線に変更する手順

【電気設備を追加する場合】

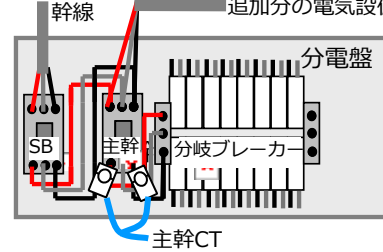
太陽光発電やエコキュートなどの配線を行うときに、主幹ブレーカーの1次側に入線を追加する場合は、本機のCTを主幹ブレーカーの2次側に取付けてください。主幹ブレーカーの2次側にCTを取付る場合は、銅バーを電線に変更してください。

【分電盤イメージ】

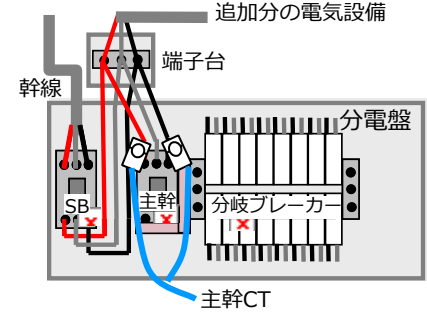


銅バーを電線に変更できない場合は、配線変更します。(端子台を追加し、主幹1次側の入線を1本にします)

主幹2次側の銅バーを電線に変更し、CTを取り付け

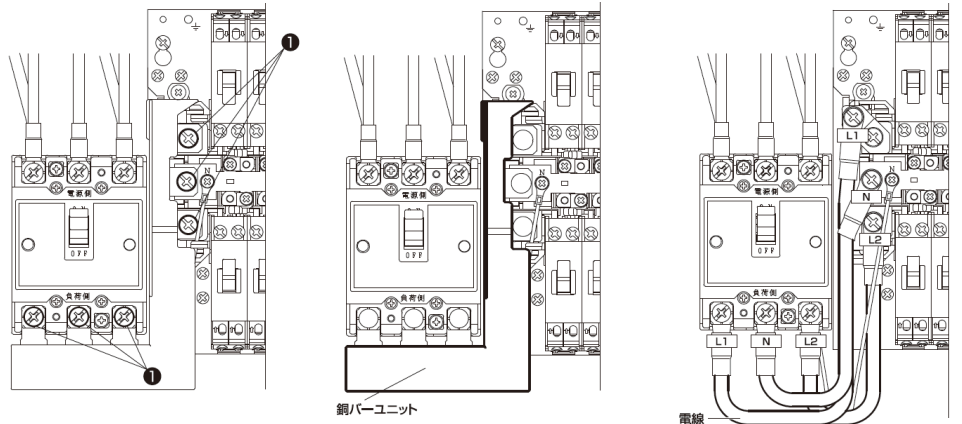


端子台を設置し、CTを取り付け



河村電器産業製ホーム分電盤の銅バーを電線に変更する場合

- ① 銅バーを固定しているねじ（6本）を外す。
- ② 銅バーユニットを外す。
- ③ ブレーカーと充電部の各相を電線で接続します。



絶縁電線の種類

主開閉器の定格電流	絶縁電線の太さ(IV線)
30A、40A	8mm
50A、60A	14mm
75A	22mm
100A	38mm

ブレーカーの相順は左からL1、N、L2
充電部の相順は上からL1、N、L2
※分電盤メーカーにより異なります。
電線の接続は①で外したねじを使用してください。

■H2V Controllerのランプ仕様

No	状態	内容	電源 (緑)	計量 (青)	通信 (橙)
1	不通電	・ H2V Controllerが通電されていない	消灯	消灯	消灯
2	起動中	・ H2V Controller起動中 (数秒)	2回点滅	2回点滅	2回点滅
3	ファーム切り替え	・ H2V Controllerのファーム切り替え中(数分)	2回点滅	2回点滅	2回点滅
H2V Controllerの状態					
4	施工時計測異常	・ H2V Controllerの入力端子 N相にL1もしくはL2相が接続されている。 【設置完了後に発生した場合】 ・ H2V Controllerが故障しています。	連続点滅	—	—
5	施工時計測異常	・ H2V Controllerの入力端子 (L1,N,L2) と分電盤の送り端子 (L1,N,L2) の接続が間違えている。 ・ 主幹CTのL1,L2取付が間違えている。 ・ 主幹CTの取付向きが間違えている。 ・ 主幹CT、CTケーブルのコネクタが正しく差し込まれていない。	点灯	連続点滅	—
6	正常	計測回路 (クルマ充電回路もしくは分岐回路) を使用していない状態です。 補) クルマ充電器の待機電力は計量ランプが消灯します。 分岐回路で50w未満の消費電力は計量ランプが消灯します。	点灯	消灯	—
7	正常	計測回路 (クルマ充電回路もしくは分岐回路) を使用している状態です。 補) クルマ充電中は計量ランプが点灯します。 分岐回路で50w以上の消費電力は計量ランプが点灯します。	点灯	点灯	—
8	太陽光発電売電時正常	太陽光発電が主幹2次側に接続されているときは『売電中』は軽量ランプが連続点滅します。 異常ではありません。	点灯	連続点滅	—
H2V Gatewayとの接続状態					
9	H2V Gateway 電源OFF	・ H2V Gatewayの電源が入っていない	—	—	消灯
10	未接続	・ H2V Gatewayと無線接続ができない 【対応】 H2V Gatewayの設置場所を変更して通信確認を行うか、無線中継器を使用してH2V Gatewayと接続してください。	—	—	消灯
11	接続不安定	・ H2V Gatewayと無線接続できているが、電波強度が弱く無線通信が不安定な状況 【対応】 H2V Gatewayの設置場所を変更して通信確認を行うか、無線中継器を使用してH2V Gatewayと接続してください。	—	—	3回点滅
12	接続エラー	・ H2V Gatewayと接続エラー 【対応】 H2V Gatewayの設置場所を変更して通信確認を行うか、無線中継器を使用してH2V Gatewayと接続してください。	—	—	連続点滅
13	通信設定中	・ H2V Gatewayと通信設定中 (1~2分)	—	—	2回点滅
14	接続中 (正常)	・ H2V Gatewayと通信中です。	—	—	点灯
PHV/EV計測の時					
15	ピークカット作動中	・ ピークカット動作による充電回路閉時 (給電オフ)	2回点滅	—	—
16	ピークカット復帰中	・ ピークカット発生後、ピークカット復帰の電力が確保できない	—	2回点滅	—